

市長	副市長	部長	課長	補佐	係長	関係者

会議記録兼報告書

議 題	第 66 回伊那まつり 第 1 回実行委員会
日 時	令和 5 年 2 月 27 日 (月) 午後 6 時から同 6 時 50 分まで その後、委員会ごと打合せ
場 所	伊那市生涯学習センター 6 階 ホワイエ
出席者	<p>会長 白鳥孝 実行委員長 中山昭 事務局長 工藤陽介 事務局次長 安藤泰行 総務広報委員会 吉澤文男 (伊那商工会議所)、小椋文成 (伊那市商工会) 小平陽介 (伊那青年会議所)、野口輝雄 (伊那市議会) 河野一弥 (伊那ケーブルテレビジョン)、城取和広 (イベント／まつりを考える会) 伊藤隆博 (伊那市観光協会)、中谷剛・小牧さとみ・牛山和也 (観光課)</p> <p>市民おどり委員会 山岸洋子・丸山洋美 (伊那市総合型地域スポーツクラブ) 原静江 (伊那まつりおどり振興会)、御子柴春樹 (伊那節振興協会) 畑敏和 (中央区)、細江孝明 (伊那公民館)、林裕二・村田和也 (商工振興課)</p> <p>おまつり広場委員会 藤澤正洋・竹腰充 (伊那商工会議所青年部)、酒井高太郎 (観光課)</p> <p>交通委員会 山崎隆男 (伊那市交通安全協会)、佐藤睦希 (JR バス関東(株)中央道支店) 柳澤和也 (伊那バス株式会社)、林誠 (伊那・つばめタクシー (株)) 白川光朗 ((有) 白川タクシー)、藤井聡生・山口雄樹 (生活環境課)</p> <p>監査委員 浦野博</p> <p>市事務局 高嶋利幸 (商工観光部)、清水俊一郎・唐木玲 (観光課) 報道 信濃毎日新聞、長野日報、みのわ新聞、伊那ケーブルテレビジョン いなあいネット 傍聴 2 名 (一般)</p>

1 開会

2 あいさつ（白鳥孝 伊那まつり会長）

伊那まつりについては、令和2年から3年間、コロナ禍による中止を余儀なくされた。

コロナ禍は、人の考え方や行動にも大きな変化をもたらし、今まで祭りを盛り上げてきた組織がなくなるなど、状況が大きく変化している。伊那まつりを再開するにあたり、これまでのやり方に固執することなく、市民全員の共通認識のもと、まつりの内容を再構築することが大切だと考えている。

伊那まつりを開催する意義は、それをきっかけに人が集い、共に考え、共に行動し、ひとつの事を成し遂げることにある。その経験が、世代間をつなぎ、リーダーを育て、次のまちづくりに活かせること。

これまで、伊那まつりは行政が中心となって進めてきた。また、事務局会議のメンバーも定期的な世代交代ができず、広く市民に開かれたまつりとは言えない状態だった。

今、私たちにできることは、コロナ禍による中止を、新たな伊那まつりのあり方を考える好機と捉えること。皆で協力して創りあげ、市民自らが実践する新しいまつりとして、一步未来に踏み出す時である。

実行委員会の皆さまにおかれては、新たな伊那まつりを創り出す大きな変化のタイミングであり、大変ご苦勞されることと思う。今のこの一步が未来の伊那市創りにつながることを期待する。

3 協議事項

(1) 第 65 回伊那まつり事業報告・決算報告・監査報告について

→承認

(2) 組織改編について【資料 2】

→承認

(3) 第 66 回伊那まつり実行委員長の選任について

次のとおり、第 66 回伊那まつりの実行委員長に次の者を提案する。

中山 昭（令和 4 年度 伊那市区長会長会 会長）

なお、伊那市区長会長会 会長の任期は令和 5 年 3 月 31 日までであり、同年 4 月 1 日以降は令和 5 年度 伊那市区長会長会 会長を充てる。

→承認

(4) 第 66 回伊那まつり事務局長・事務局次長の選任について

次のとおり、第 66 回伊那まつりの事務局長に次の者を提案する。

工藤 陽介（公募）

次のとおり、第 66 回伊那まつりの事務局次長に次の二名の者を提案する。

宮澤 伸英（一般社団法人伊那青年会議所）

安藤 泰行（伊那商工会議所）

→承認

(5) 第 66 回伊那まつり実施方針（案）について【資料 4】

→承認

(6) 各専門委員会正副委員長の選出について【資料3】

次のとおり、各専門委員会の正副委員長を提案する。

総務広報委員会 委員長 吉澤 文男（伊那商工会議所）

同 副委員長 工藤 陽介（事務局長兼務）

市民おどり委員会 委員長 畑 敏和（伊那市区長会長会/中央区長）

同 副委員長 安藤 泰行（事務局次長兼務）

おまつり広場委員会 委員長 清水 功（伊那商工会議所青年部/令和5年度部長）

同 副委員長 宮澤 伸英（事務局次長兼務）

交通委員会 委員長 山崎 隆男（伊那市交通安全協会）

同 副委員長 選出しない

なお、市民おどり委員長について、中央区長の任期は令和5年3月31日までであり、同年4月1日以降は令和5年度中央区長を充てる。また、おまつり広場委員長については、令和5年度伊那商工会議所青年部長（予定者）とする。

→承認

(7) 監査委員の選任について【資料3】

次のとおり、監査委員に次の2名を提案する。

中山 昭（任期は令和5年4月1日から（前年度実行委員長を充てる。））

浦野 博（伊那市公民館運営協議会/西春近公民館）

→承認

(8) その他

2日開催が伊那商工会議所の願いである。1日だと寂しい。コロナや金銭面など課題もあるが、従来どおり2日間やり遂げて楽しんでもらいたい。1日開催にする理由には納得いかないこともあるので、さらに説明があるといい。伊那商工会議所としては、総合経済団体の役目として伊那市への誘客率を高めたい。正副会頭会でも残念だ、寂しいと話している。今回の実施方針に反対するわけではないが、意見を述べる。

4 その他

閉会后、各専門委員会ごと打合せを行い、情報共有や課題共有をする。

5 閉会

【各専門委員会の打合せ内容】

◇総務広報委員会

・うちわ

制作していく。協賛金集めの方法はクラウドファンディングなどを検討していく。

・豆しぼり

在庫を確認。主におどり連が購入するので、市民おどり委員会と調整して制作するか決める。おどり連が主であれば、担当を市民おどり委員会にしてもよいのではないかという意見あり。

・まつり冊子

みなまつりのサイズ（A3両面）で制作していく。交通規制図1P、花火、うちわの寄付者1P、

その他イベント内容 2 P で検討していく。

- ・ポスター制作

すでに用紙は中学校に配布済み。例年どおり進めていく。

- ・Tシャツ制作

制作する方向でデザイン募集を行っていく。販売が市役所の負担になっているので、会議所の会員や会議所事務局で対応できないか。という意見あり。会議所でも検討してみるとのこと。

- ・終幕花火打上げ

1か所（春日公園）で15分程度の花火打上げ予定。内容の濃い花火にした場合に、いくらかかるか事務局で煙火店に確認する。協賛金集めもクラウドファンディングを検討していく。

- ・その他

会場機材手配は見積中の旨報告。

※制作するものが多く、花火の業務もあるため、他課や他係にも協力をいただきたい。（豆しぼりの追加発注は不要か。）以前はうちわ、豆しぼりは産業立地推進課に、まつり冊子は観光課観光施設係が対応。できるだけそういう業務も民間に移していきたい。

◇市民おどり委員会

（市民おどり委員会では判断できないこと）

- ・おどりがメインのまつりというコンセプトもあり、おどり方について従来と同様か、ウィズコロナ版とするか、事務局の意向をお聞きしたい。おどり委員会だけでおどり方を決めるのは荷が重い。
- ・ある程度おどり参加者数が把握できないとおどり方が決まらない、一方ある程度おどり方が決まらないと参加者を募集できないというジレンマがある。どうしよう。
- ・市民おどりをやることについて、周知してよい時期を教えてください。

（市民おどり委員会では判断できないこと（調整いただきたいこと））

- ・参考資料をみると、市民おどり委員会の業務内容が以前より増加している。（おどりアナウンサー依頼・調整、音響、おどり放送本部の運営）経験者もいない状況で今までやっていない業務まで増加するのは困難である。委員会としての事務量としては適正なのかどうかという判断はされているのか。

（市民おどり委員会で優先順位をもって進めるべきこと）

- ・参加連がどのくらいになるか不安な面がある。市民への実施の周知をなるべく早くしてほしい。4月に入ったらすぐにでも周知通知などでお知らせしてほしい。周知してよい時期について教えてください。特に学校については、3年間踊りたくても踊れなかった学年がある。そういった学年が踊りたい場合に踊れるよう、例年より早い周知が必要。
- ・3年空白期間があり、インストラクターの人数の確保が心配される。まず、インストラクターに今年の伊那まつりに協力いただけるかの現状の把握と、インストラクター募集等その対策が必要。

◇おまつり広場委員会

- ・実働は、伊那商工会議所青年部 竹腰充さん、藤沢正洋さんが担う。
- ・出店、出演に必要なスペースを把握、調整する。

- ・前回までの出店出演をリストで把握し、どのルートで声をかけるか、公募をどのくらい、どのタイミングで行うかを早めに検討する。
- ・各スペースで電気、水道などの仮設が必要か（委員会として用意する必要があるのか）、予算確保が必要か検討する。
- ・名簿にある荒井商工会、ルネッサンス西町の会には、事務局から開催方針などを情報共有し、今回の参画意向をヒアリングする。
- ・特に出店についての青年部の意向は、もめそうな出店場所、ブースなどについては、出店者との個別のやりとりではなく、出店者団体代表者との調整、おまつり広場委員会の会議の場の決定（事務局案は青年部作成）としたい。
- ・交通規制の範囲が早めに決まるといい。合庁前まで使えるかどうか、開会式やオープニング（パレード？）の位置、他のステージイベントの有無も早めに確認したい。
- ・花火についての概要が知りたい。
- ・以上について3月中ぐらいには委員会の方針も決め動き出したい。

◇交通委員会

1 共有すべき打合せ内容

(1) 全体として優先順位をもって進めるべきこと

直ちに祭りの内容・時間・実施区間の素案を決定すること。

前記内容が決定しない限り交通規制計画を進めることはできない。

(2) 各委員会で優先順位をもって進めるべきこと

ア 各交通事業者と素案を直ちに共有する。

イ 祭りの内容・時間・実施区間の素案に基づき、警察及び委員と協議し交通規制範囲を確定させる。

ウ 確定した交通規制範囲に基づき、交通整理必要人員を明らかにする。

エ 警察官の配置交差点の他、交通整理人員の内訳及び配置場所を明らかにする。

オ 警備会社への警備員の見積りと契約

カ 交通規制に必要な資機材を明らかにする。

(3) 各委員会で判断できないこと

ア 警察との協議なくして交通規制範囲は確定できない。

イ 交通整理要員について、旧来からの市職員や安協の人材に頼る方法でよいのか、または警備員の最大動員を持って対応していくことへの可否

2 確認事項

春日公園で花火を打ち上げる場合の交通規制はどこが管轄するのか。